

自分らしいキャリアを再確認

けんせつ女子セミナー開く

日塗装普及委・北陸ブロック

日本塗装工業会普及委員会・北陸ブロックは13日、「けんせつ女子ビューティーセミナー」を長岡造形大学で開き、行政、

建設業界、大学生42人が参加し、女性活躍推進や自分らしいキャリアについて一人ひとりが自分事として再確認した。



「仕事を楽しみ輝こう」をテーマに行われたセミナー

講座では、iWiWコンサルティンク事業部の深田絵里氏を講師に迎え、「一人ひとりの視

点が違うことを認め、世の中の変化を知り、自分らしく働くために自分のキャリアというものを前向きに考え

と強く呼び掛けた。その上で世界と日本を比較しながら、「男性中心の意識がある。ここを改善しないといけない。女性活躍は経営戦略の1つでもある」と話した。加えて、「女性○○という言葉はもうお腹いっぱい(飽きた)。お茶くみはずいぶんでも廃止すべき」とし、参加者もうなずいていた。

引き続き、業界で活躍する女性目線から見たやりがいや、ものづくりの魅力、普段の生活をテーマにパネルディスカッションが行われた。新潟県土木部都市整備課の瀬戸

民枝課長は「造ったものが皆さんの役に立つのがやりがい。家事に追われ朝4時から勉強し自己研さんとして資格と取得した」といったエピソードを披露。また、山崎塗装店(本社、福井県)の野

崎智恵子常務取締役は「新潟支店長のとき、周りがびっくりされた」と笑顔を見せ、「育児しながら学校に通いキャリアを付けた。心身ともに健康が1番。1日の終わりに自分で自分をほめて明日の活力につなげてほしい」とエール。

新潟県支部の加藤正支部長は「これを機に女性目線で塗装の良さを感じてもらい、日々の仕事に励んでいただきたい」と大きな期待を寄せた。